

さくらだより

広報

8月号 No.72

平成 30 年 7 月発行

経験したことのない暑さが続く中、皆様はいかがお過ごしでしょうか？ 猛暑が原因で人命が危険にさらされるなんて昭和生まれの私にはピンと来ませんが、実際に 1 週間のうちに約 1 万人の方が病院に搬送され、十数名の方が命を落とされたというニュースを見ると他人事とは思えません。約 1 分に 1 人が搬送されている計算になります。皆さんもどうか他人事と思わず、周囲の者同士で声を掛け合う等十分な対策をお願い致します。「他人事と思わず」と言えば、最近映画化された“空飛ぶタイヤ”。前号でも少しご紹介しましたが、同業者の実話が基に作られた映画と言うこともあり、社長の呼び掛けで映画鑑賞会が開催されました。なんせ急な開催だったため参加人数は少なめでしたが、「毎日の点検の大切さを再認識しました」など、大型車を運転する者の責任を改めて実感する良い機会となったようです。

映画鑑賞会

「欠陥があるトラックは走る凶器でしかない」という言葉がとっても心に残っているので、映画を観てからは毎朝今までの倍はボルトを叩いてチェックするようになりました。あの映画を観た事で自分の中の意識が1つでも変わったと実感したので、観て良かったなと思いました。社長はDフジオカがカッコいいと言いましたが、私は内部告発をして大阪に飛ばされた人がカッコいい!!

空飛ぶタイヤはリコール隠しによる車の欠陥でしたが、そうあることではありません。冬タイヤから夏タイヤへ交換したり、パンク修理でタイヤ交換をしたりする事が多い運送業界。整備ミスによりタイヤが飛んでいくことの無い様に、日常点検をしっかり行うよう指導していきたいと思います。

映画を観て命の尊さを改めて考えさせられました。また自分には足りない部分が多い事を実感しました。相手が誰であろうと自分は間違っていないと立ち向かう勇氣。それを裏付けるための証拠集めの執念や仲間を信頼する気持ち、そして何事も諦めない信念。自分を見直す良い機会を頂きました!!



観る人の立場によって感じる事や想いが違う映画だなと思いました。ドライバーの私は日常点検の大切さを感じましたが、整備の知識に関してはメーカーやディーラー等の専門家に頼る他ないので誠意ある対応をお願いしたいです。また、1人でも多くの方に観て頂き、人を死なせてしまう事、その家族の悲しみを考えて頂きたいです。

自分がすべき仕事を怠りなくしていれば、万が一の時に自分の助けや力になると思いました。

トレーラーのタイヤが走行中に外れるという実際にあった事故を題材にした話と言う事で、ドライバーの私にとってはとてもリアリティの感じられる映画でした。日常点検はしっかり行いたいと思います。そして長瀬智也がとってもカッコ良かったです。2時間でまとめるには勿体ない話なので連ドラ化されるとなるとお良かったと思います。

専門知識がないので他(人)に頼ってしまう。自分がわからない部分にミスがあって、なんらかの問題が起きたらそれが自分の責任になる。それなら、ちょっとでも整備知識が欲しいなあと思いました。

パワハラ教育

数か月前、とある番組で新社会人のビックリ発言を耳にしました。上司のW部長から同期の新人A君はこんなに頑張っているから、君も負けずに頑張れよ！と声を掛けられた新人B君。なんと彼はその後人事部に駆け込み、W部長に「もっと頑張らなさい」とパワハラを受けたと訴えたそうです。B君の行動にも驚きますが、番組で「こんなこともパワハラになってしまうご時世ですよ」と紹介していることに驚きました。そもそもハラスメントとは故意や悪意のある“虐め”や“嫌がらせ”を意味しているのに、コミュニケーションが上手く取れていないと全てがハラスメントとして成立してしまうかのような勘違いを蔓延させているように思えました。そんな勘違いをしてはいけなしいと思ひ、管理職のみなさんに正当な？「パワハラ」についてお勉強してもらうため、DVD鑑賞をしてもらいました。



何これ？業務命令もパワハラになり兼ねんの？ たまらんなあ～



観る前に返却された～やべえー!! 「お前が一番観ろ」って言われるにきまつてる～ピンチ

セクハラの話はしてもパワハラについてはあまり話をしてこなかった。なぜなら私が一番してるかもしれないから。でも、今回事例を含めた教育DVDを観てひと安心。フォローもするし、愛もあるから♪人の命に係わる仕事だから厳しくて当然と思ってるんだけど、分かってくれてるよね？みんな♡



パワハラは法的に定義が無い分デリケートな問題だと思います。ただ、悪い事は悪いと注意指導は必要だけど何事も度が過ぎてはいけなしい。肝心なのは日頃からのコミュニケーションだと思う。



決別しました!! by 後藤

十年間愛用していた黒いスプレーと決別しました!!

今まで何本のアイツに世話になっただろう。アイツとは沢山の思い出がある。初めて出会ったのは僕が40歳の時だった。夏にはいつも黒い汗が流れ、ヘルメットを被れば内側を汚して怒られる。

そう、アイツの名前は「massini(マツニ)」。

あ、こんなこともあったっけ。社長の新車に乗せてもらった時、後部座席に乗り込む時、天井に頭をぶつけてマーキングしてしまったよね(エヘヘ♪) そんなお茶目なアイツに別れを決意できたのは、数か月前に来てくれた専務のおかげ。坊主歴6年の大先輩。専務の坊主頭が僕の背中を押してくれました。

丸刈りの僕を見て、事務所のみんなは「似合う!!」と言ってくれました。ドライバーさんからも「優しい顔になった! 似合うよ!」と声をかけてもらいました。何をあんなにこだわっていたんだろうと今では思います。吹っ切れた僕の晴れた気持ちが表情に出てるのかな♪ さよなら、massini!!



オレは潔いから、アレだよ、T字カミソリでいってるからね。隠したりしないからさっ

新芽が出てきました!!



広報の内容としては？な気もしますが、事務所の一大事なので取り上げさせていただきます。後藤の勇気を誇りに思います!!



編集長の独り言

突然ですが、どうして日本にはスクールバスがないんでしょうか？何が理由でスクールバスが運行されないのか、どなたかご存知の方は

いらっしゃいませんか？ 何のために児童は歩いて学校に行くんですか？ 体力づくり？ なんで？ それはいつの時代に決まったことなの？ 現代に沿った選択肢なの？ とまあ、疑問が尽きません。狭い道路が多い住宅街であれば大きなバスを運行しなくてもマイクロバスでもいいですよ？ 暑さ、事故、事件、どの問題もバスを運行する事で多少なりとも危険を回避できると思いませんか？ どうして国に一番大切な財産である子どもたちを守ろうとしないんでしょうか？ 子どもを守る事は優先順位が低くてお金はかけられない？ この疑問に関して伊藤はとってもヒートアップしてしまいます。いつも犠牲になるのは物言わない子供たち。はあ、何とかしませんか？といつも悲しいニュースを観て思います。思ってるだけじゃダメなのでどなたかアドバイス頂けませんでしょうか！ 宜しくお願ひ致します!! あ、話は変わりますが、8月に会社 BBQ します♪ 次月長谷川編集長、ヨロですっ!